

社会資本総合整備計画

事後評価書

平成29年5月19日

計画の名称	弘前市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	弘前市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。		
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道普及率を81.6%(H23当初)から82.6%(H27末)に増加させる。		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値
			備考
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)
	81.6%	82.2%	82.6%

上段：計画 下段：実施

全体事業費	合計 (A+B+C)	928 百万円 928 百万円	A	892 百万円 894 百万円	B	0 百万円 0 百万円	C	36 百万円 34 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.9% 3.7%
-------	---------------	--------------------	---	--------------------	---	----------------	---	------------------	---------------------------	--------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
弘前市上下水道部にて評価を実施	平成29年4月
	公表の方法
	市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	新設	弘前東部第1処理分区枝線	污水管φ75~200mm L=3.2km 污水管φ75~200mm L=3.1km	弘前市						284 282	
1-A-2	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	新設	弘前南部処理分区枝線	污水管φ75~200mm L=0.8km 污水管φ75~200mm L=1.0km	弘前市						54 55	
1-A-3	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	新設	弘前中部処理分区枝線	污水管φ75~200mm L=1.3km 污水管φ75~200mm L=1.4km	弘前市						87 87	
1-A-4	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	新設	弘前西部2-2処理分区枝線	污水管φ75~200mm L=0.8km 污水管φ75~200mm L=0.8km	弘前市						70 68	
1-A-12	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	全種	調査・設計等	管渠L=11.5km、処理場N=1箇所等 管渠L=7.8km、処理場N=1箇所等	弘前市						79 71	
1-A-13	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	新設	岩木第1処理分区枝線	污水管φ150~200mm L=1.3km 污水管φ150~200mm L=1.3km	弘前市						144 145	
1-A-15	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	新設	終末処理場(百沢処理区)	水処理施設 V=330m ³ /日 水処理施設 V= - m ³ /日	弘前市						114 0	
1-A-16	下水道	一般	弘前市	直接	-	分流	新設	百沢処理区污水幹線・枝線	污水管φ150mm L=1.0km 污水管φ150mm L=1.8km	弘前市						60 186	
											小計(下水道事業)					892 894	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
										合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	下水道	一般	弘前市	直接	-	新設	弘前東部第1処理分区端部枝線（単独管）	汚水管φ150mm L=0.3km 汚水管φ150mm L=0.3km	弘前市						23 23	
1-C-2	下水道	一般	弘前市	直接	-	新設	弘前南部処理分区端部枝線（単独管）	汚水管φ150mm L=0.1km 汚水管φ150mm L=0.1km	弘前市						6 4	
1-C-4	下水道	一般	弘前市	直接	-	新設	弘前西部2-2処理分区端部枝線（単独管）	汚水管φ150mm L=0.1km 汚水管φ150mm L=0.1km	弘前市						7 7	
										合計					36 34	

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	基幹事業である枝線整備（1-A-1）と接続した端部枝線（単独管）整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。											
1-C-2	基幹事業である枝線整備（1-A-2）と接続した端部枝線（単独管）整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。											
1-C-4	基幹事業である枝線整備（1-A-4）と接続した端部枝線（単独管）整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に資する。											

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		平成23年度から平成27年度の5年間で40.2haの整備を行い、普及率が81.6%から83.6%へ増加し、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られた。				
II 定量的指標の達成状況	下水道処理人口普及率	最終目標値	82.6%	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成	
		最終実績値	83.6%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）						

3. 特記事項（今後の方針等）

本計画の最終目標は達成したが、残りの未整備地区についても計画的に下水道整備を推進し、下水道普及率を向上させることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現できる環境を創造していく。

【参考図面】 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

